

大韓民国の「衣文化」について—韓服（ハンボック）

李^い京^{きょん}憲^ひ（韓国）

それぞれの国には、その国を代表する伝統衣装があります。

韓国には韓服があり、日本には着物、中国にはチバオ（チャイナドレス）があります。韓国人であるならば、一生に少なくとも1つ以上の韓服を求めることになります。

しかし、最近では韓国人であるにもかかわらず、韓服が非常に遠く感じられる理由は何でしょう？ 現代社会全体ではありませんが、少なくとも私たちの世代からは遠くなっています。

韓国人は、いつ、最初に韓服を着ることになるのでしょうか？ 最初に着るのは、1歳になった時に着るドルボックです。韓国では生まれてから1年がたった日にドルジャンチ（初誕生日祝）をします。その時に着る韓服がドルボックです。両親が準備してくれた美しい服を着て、家族と親族と一緒に集まった席で未来を占う行事であるドルジャビも行われます。ドルボックには寿と富貴を祈念するアクセサリーがついています。その次は、幼稚園の誕生会の時に韓服を着ることになり、その後は節句（旧正月、秋夕）や大きな行事がある時に取り出して着ることになります。それから、一生で最も華やかできれいな韓服を着ることが出来るのは、結婚式の本式が終わり、長老に挨拶をする時です。

しかし、最近では徐々に韓服に対する需要が減ってきて、節句でさえ韓服を喜んで着ない人が増えてきています。それにつれて、変化していく時代に足並みを揃えるように、韓服はさまざまな形態に変化しています。楽しさを追い求める忙しい現代人たちのために改良韓服も作られるようになりました。改良韓服は活動しやすく汚れにくく、洗濯にも強い素材を使って実生活に便利です。そして韓国の伝統の色あいとデザインを取り入れています。韓服の本質は変わらずに、実生活に適応しています。身近になる韓服に対する認識と伸びていく需要に応じて、デザインが美しく改良されました。

最近、韓国ではドラマや映画で俳優たちが着た韓服を一般人たちも手軽に購入することができるようになりました。伝統を守る韓服も流行するようになったのです。例えば『大長今』というドラマが流行った時には、品があって女性を強調する雰囲気韓服が流行っていました。『ファンジニ』が映画とドラマとなった時には、韓服のデザインがかなり派手になりました。特に『ファンジニ』の韓服は結婚式や特別な集まりに参加する時のもので、ドレスより華麗です。そのため、若者まで人気が広がりました。

漫画が原作である『宮』というドラマにおいては、韓服とドレスの派手さを調和してフュージョン韓服という新しい言葉が生まれました。伝統的な韓国の美しさのある韓服デザインが、学生たちにも高い人気を得て、社会的に話題になりました。

このように、親しみのある韓服ですが、まだまだ格式を重んじなければならない服という固定観念を捨てるのが困難でもあります。私はドルボック、幼稚園の誕生会、20歳の正

月と、3回韓服を着ましたが、ここ10年間は韓服を着る機会がありません。しかし、韓服は漠然と難しい服という固定観念から脱するために、今年はきれいな韓服を購入するつもりです。

今度の節分には、暖かい春の花の色のチョゴリと、深みのある青い秋の空のような色のチマを着てみたいと考えています。

韓服ともっと親しくなることができるように・・・。